

令和3年度 学校自己評価

認定こども園こどもむら 栗橋さくら幼稚園

目指す子ども園像	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達に未来を切り拓く能力を育む</li> <li>保育者も共に学び、成長していくこども園</li> <li>地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園教育保育要領に沿い、子どもの様子から保育過程を見直し、未来を切り拓く力を育む。</li> <li>保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。</li> <li>地域と協働し、子ども・子育ての環境を広げていく。</li> <li>保健衛生及び安全管理に取り組み、安心安全な保育環境に努める。</li> </ul>

番号	観点	具体的評価内容	評価	
			評価	意見や改善策等
			4 十分達成できている	
			3 達成できている	
			2 あまり達成できていない	
			1 達成できていない	
1	園の教育・保育目標	本年度の本園の重点目標を念頭にして教育活動に取り組む	3, 4	重点目標を念頭に子どもたちの姿や成長過程をふまえながら環境設定や保育をすることができた。
2	保育環境	園児が日々チャレンジできる環境づくりに取り組む	3, 5	子どもの特性に応じて環境を変え、様々な体験ができた。なわとび記録会など目標をもって取り組んでいた。
3	健康な身体	見通しをもって行動し、健康で安全な生活を送る	3, 5	日々の生活の中で一日の流れを知り、見通しを持って生活できた。遊びの中で体力も付いてきている。
4	健やかなこころ	園における生活の中で充実感を持って自分のやりたいことをする	3, 6	こどもたちのやりたいことができる環境を作り、自分のやりたいことやべきことを形にしている。
5	人間関係	相手の気持ちに共感し思いやりの気持ちを持ち、接する	3, 5	普段から「ありがとう」などが言い合える環境を意識した。トラブルの中でも友だちを気に掛ける姿が多く見られた。
6	言葉	自分の意見を伝え相手の話を聞き理解する	3, 4	遊びの中でコミュニケーションを楽しむ姿が見られた。幼児は話し合いがもてるようになった。
7	表現	感じたことや考えたことを自分で表現する喜びを味わい意欲を持つ	3, 5	自分の思いを言葉で伝えることができたり、製作では様々な素材に触れ、自由に表現することを楽しんだ。
8	知識及び技能の基礎	いろいろな体験を通して感じたり気づいたり分かったりできるようにする	3, 6	日々の生活からできることが増え、行事につながっていった。できたことを伝えていくこともできるようになった。
9	思考力、判断力の基礎	気づいた事や出来るようになった事を考え、試し、工夫し、表現したりする	3, 4	これまでの経験からいろいろなことに気づき、自分たちで考え判断し、活動を発展させている。
10	主体性、学びに向かう力の基礎	身近な環境に主体的に関わり、心情、意欲、態度が育つ中で生活をする	3, 4	当番活動等の中で、責任感をもって活動し、自己肯定感をもちながら過ごしている。
11	安全・安心	避難訓練、交通安全、防犯、お散歩マップを作成し安全指導に取り組む	3, 6	毎月訓練は行えた。園庭のハザードマップを子どもたちにも伝えた。防犯面でも「いかのおすし」を伝え自分自身で守る命の話もしている
12	小学校との接続 (5歳児のみ)	近隣の小学校へ訪問したり、学童と交流をして小学校への期待が高まるように準備する	3, 4	栗橋小学校内を探検させてもらっている。また、公開保育や学校評議会を開き、子どもたちの様子を見てもらっている。入学前・入学後にもこどもたちの情報共有をおこなっている
13	保護者支援・子育て支援	一時預かりや保護者懇談会、栄養、健康相談に取り組む	3, 5	年2回の担任との個人面談や主幹保育士が子育ての相談をしている。月1回の臨床心理士との面談も希望性で行っている。
14	地域との協働	子ども子育て関係の情報発信や地域貢献に取り組む	1, 7	新入園児募集、未就園児クラス募集、なつまつり、運動会のポスターは行政、銀行、地域の商店などに協力してもらい、利用者が目につく場所に貼ってもらっている。
15	職員の成長	職員研修の充実と働き方の改善に取り組む	2, 5	有給消化率ほぼ100%。園内研修で環境図の見直し、3か月ごとに記入しているおもちゃだよりを書くことで子どもたちの年齢にあったものを準備するようになっている。